



6月8日、文化会館で安武玄晃さんの小郡ふるさと文化大使就任式を行いました。

当日は「安武玄晃コンサート第10弾『おごおりの光』」の開催日でもあり、多くのファンに祝福されながらの就任となりました。

就任式に先立ち、加地市長と対談する中で、安武さんのこれまでの歴史や小郡市への思いに迫りました。

自分の力を信じて、 進み続ける

市長 小郡ふるさと文化大使をお引き受けいただきありがとうございます。

安武 最初にお話をいただいたときはびっくりしましたが、とてもうれしく思います。

サクソスとの出会い

市長 コンサートやアルバムリリースなど活躍されていますが、サクソスとの出会いを教えてください。

安武 子どもの頃、ぜんそくの治療で通っていた病院の先生から、管楽器を薦められました。実は音楽の授業が嫌いで、リコーダーすら苦手だったのですが、サクソスを見たときかっこいいと思い、中学校の部活で始めたのがきっかけです。

夢をかなえるため、米国へ

安武 高校時代は新聞配達をしてサクソスのレッスンに通っていました。卒業後、一度は企業に就職しましたが、世界的なサクソス奏者のロン・ブラウンさんに会い、

やす たけもと あき 安武玄晃 小郡ふるさと文化大使



演奏を通して伝えたいこと

市長 小郡市でのコンサートでは市内の中学生や高校生とコラボしていますよね。安武さんが子どもたちに伝えたいことは何ですか。

安武 自分に才能がないと思いません、まずはやってみることで自分の力を信じてさまざまなことにチャレンジしてほしいですね。

楽器に魅了され、才能がないと思っていた私がここまでやれている——その姿を見せることで、小郡市の子どもたちに、「いろんなことができるよ。諦めなくていい」

安武玄晃プロフィール

1981年、小郡市生まれ。16歳で本格的にアルトサクソスを始める。世界最高峰のサクソス奏者ロン・ブラウンに師事し、2010年にデビューアルバム「Break Through」をリリース。2014年から文化会館で毎年コンサートを開催。サクソスの世界3大メーカーの柳澤管楽器株式会社とエンドース契約を結ぶ。青少年育成にも力を入れ、小郡市内の中学校で、演奏指導やコンサートで共演する取組を長年行う。また、東日本大震災復興支援コンサートや能登半島地震復興支援を行う。2023年、「おごおりの光」を収録し、世界的なアーティストも参加したアルバム「ALL YOUR HEART」は、発売から5日間で初版が完売。▶



たいと思い、退職してロサンゼルスに行きました。

市長 英語もあまり話せず、ロン・ブラウンさんに会うための紹介者もない中で向かったそうですね。

安武 会いたいという思いと気合だけで行きました。最初は相手にされず、途方に暮れましたね。

市長 最終的に、日本人で初めてロンさんの弟子になることができたのですが、そこから順調に進んでいったのでしょうか。

安武 いいえ。ロンさんに「君のサクスの吹き方は間違っている。世界では通用しない」と言われ、新たに教わった吹き方では音が全く出ないなど、とても苦しい時期を過ごしました。

市長 これまでの努力が否定されてしまうのは苦しいですね。そこからどのように乗り越えたのですか。

安武 「ここで立ち上がれないならそこまで。世界ではやっていけない」と覚悟しました。またロンさんから「あなたは自分で自分の才能を制限している」と言われ自分の力を信じて練習し続けました。

小郡市から音楽を届けたい

安武 やがて音が出るようになりロンさんに認めてもらうと、2010年にデビューアルバムをリリースしました。その時も地元小郡市の人たちが応援してくれて、『小郡市から』自分の音楽を発信したいと思いました。実際に、津古駅の藤棚の下で、コンサートをさせてもらいました。

また、小郡市の文化会館でのコンサートは、2014年から10年間続けることができました。私の将来を心配し、退職に反対していた元職場の人たちも、今ではコンサートに応援に来てくれていて、本当にうれしいです。

市長 今でも拠点を小郡市に置いて活動されており、小郡市が本当に好きということが伝わってきます。

安武 小郡市は、地域や学校で人権問題学習にしっかりと取り組んでおり、一人ひとりの人権を大切に行っているまちです。一度は市外に出ましたが、そういった小郡が好きで戻ってきました。

小郡市長 加地良光

いよ」と伝えたいです。プロとして歩み始めた私の活動と演奏が、子どもたちの役に立てたらうれしいなと思っています。

市長 大人ですが、自分で自分の才能の限界を決めてしまい、諦めてしまうことも多いですね。でも、諦めずに進めば道は拓けると私も思います。

安武 そうですね。努力していると新しい景色が見えてくるし、その姿を見て助けてくれる人も必ず出てきます。

「おごりの光」に込めた思い

市長 市制施行50周年の際に作曲いただいた「おごりの光」に、今回、歌詞をつけられています。小郡市の情景が思い浮かぶいい歌詞ですね。歌詞

に込めた思いを聞かせてください。

安武 みんなが光り輝いていて、その一人ひとりの「光」は小さくても、みんなの「光」が集まれば強い光になり、小郡市をよりよく発展させていくということ、そして、子どものころに学校で学んだ「一人ひとりを大切にしよう」という思いなどを歌詞に込めました。

市長 安武さんが頑張っている姿こそ自分で道を切り開いてきた姿は、市民に勇気を与えています。これからの更なる活躍を期待すると共に、小郡ふるさと文化大使として小郡市にご協力ください。**安武** 小郡ふるさと文化大使として、大好きな小郡市をこれまで以上にアピールしていきますので、よろしく願います。

「おごりの光」はYouTubeチャンネル「サクス日記【安武玄晃】」から聴けます。



あきらめずに進めば、道は拓ける